

DEPARTMENT OF PEDIATRICS, TSUKIYAMA HOSPITAL 月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (~はフリガナ=キ-ホ-ト`の@の上の`をshiftで変換)
携帯 http://paa.jp/t/107401/ (アイチケット共通)

月山病院小児科では子ども達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

くり返すぜいぜいについて

春は気候や気温の変化が激しく、ぜいぜいをくり返えされる(喘息を含む)患者さんも多くなってきました。今回は喘息を含めくり返すぜいぜいについて最近の話題を含めお話しします。

喘息なんてしょうか?
呼吸をする時にぜいぜいすることを喘鳴(ぜいめい)といいますが、この喘鳴をおこされた子どもさんの保護者の方によく、喘息ですか、と聞かれます。喘鳴の原因には多くの原因があり、1度だけの診察では判断はできません。喘息とは慢性的の病気で、何回か(3回以上が目安)喘鳴を繰り返す場合に喘息の可能性があります。保護者の方の喘息の認識とは少々異なるかもしれませんが最近では次に述べるような分類がなされるようになってきています。

どんなタイプがあるの?
喘鳴を繰り返す病気が広い意味での喘息には大きくわけて次の3つのタイプがあることがわかってきました。

1 2歳以下の年齢で風邪などの感染症で引き起こされる、くり返す喘鳴、乳児喘息といわれることもあるタイプ。熱を伴うことが多いタイプで、3歳くらいになると感染症に強くなり喘鳴を繰り返さないようになります。

2 アレルギ-の関与が少ないくり返す喘鳴のタイプ。3歳頃に明らかかな熱もないのに喘鳴を繰り返すタイプで、家族の中にアレルギ-をお持ちの方もおらず、血液検査をしてもアレルギ-が見つかりません。6歳くらいになると次第に喘鳴を起さないようになります。

3 アレルギ-の関与が強いタイプ。従来からの喘息といわれているものに最も近いもので、家族の方にアレルギ-をお持ちの方おられたり、血液検査でアレルギ-の関与が強く認められるので思春期程度(時にそれ以上)まで喘鳴をくり返すようになります。

ただし、どのタイプであるのかを診断する正確な検査や指標はまだ開発されていません。例えば2歳の子どもさんが喘鳴をくり返した場合には、はたしてどのタイプであるのか、将来いつ頃喘鳴をくり返さないようになるのかを診断することは残念ながらできません。

喘鳴が繰り返し起こった場合はどうするの?
2歳以下では風邪に伴って起こる場合(熱をだすこと)も多いのですが、しかし熱もなく喘鳴をくり返したり年長になっても喘鳴がある場合は血液検査などを行いアレルギ-の関与を調べることが大切です。

治療はどうするの?
治療方針はタイプが判明するまでやむを得ないのですが、前述したようにタイプを正確に診断することは困難です。喘鳴には、喘鳴がでた時に使用するお薬と喘鳴を予防するお薬があります。喘鳴がでた時に使うお薬はどんなタイプであっても使用されますが、予防するお薬については先生によっても意見が異なります。喘鳴はどんなタイプでも肺を痛めるので早期から使用の方がよい、とする先生とアレルギ-の関与がなければ経過観察してよい、とする先生がおられます。ただ頻度が高い(1カ月に2度以上が目安)場合やアレルギ-の関与が強いタイプは予防が必要であることは一致しています。予防のお薬は長期になるので副作用をよく気にされますが、最初から長期投与を前提に作られている薬ですので、普通の薬と同じと考えた上で先生と相談してみましよう。



今月の顔
のあちゃん
幼稚園楽しい?



絵本のご紹介

小児科スタッフによる絵本の紹介です
書評：今度もきいろいちょうちよ、ちがう！ 何と間違えるのかな。次は何かと、わくわくさせる楽しいお話です。 by 細川

月山病院小児科からのお知らせ

- ゴールデンウィークの診察について
 - 4月29日(火=昭和の日) 9時-12時、休日対応
 - 4月30日(水) 通常診察
 - 5月1日(木) 通常診察
 - 5月2日(金) 午前診を板橋から月山啓に変更
 - 5月3日(土=憲法記念日) 9時-12時、16時-18時30分、休日対応
 - 5月4日(日=みどりの日) 通常診察(9時から12時受付) ただし予防接種はなし
 - 5月5日(月=こどもの日) 9時-12時で休日対応
 - 5月6日(火=振替休日) 全日休診
- 5月の金曜日午前診は担当が板橋から月山啓に変更となり、午後の予約診は休診となります。ご了承下さい。
- 4月から水曜日の診察医が変更となっています。
 - 水曜日午前診 杉本圭相
 - 水曜日午後診 杉本圭相

麻疹・風疹混合ワクチンの接種について

3期・4期の接種とは。
近年麻疹の流行や妊婦さんの風疹感染が散発してみられるためその対策として麻疹・風疹混合ワクチンの接種が平成18年度から1歳児と就学前(幼稚園用)の2回接種に変わっています。ところが現在小学校3年生以上の方は1回接種のまま取り残されていたため平成20年4月から5年間の暫定で中学1年生(3期)と高校3年生相当(4期)で麻疹・風疹の混合ワクチンを接種することになりました。(和歌山県では公費負担で無料で接種できます)これにより今年の高校3年生から以下の年齢では5年後にはすべて2回接種したことになります。5年後には3期や4期の予防接種はなくなる予定です。接種券は中学入学の時は学校から配付され、高校3年生相当の年齢では個別に郵送されています。大学入学に際して麻疹の免疫を確かめたり2回目の接種を要求する学校も多くなってきました。大学入学後では自費になり相当額の負担が必要になります。必ずこの機会に接種するようにして下さい。

大学生(19歳以上)の人はどうしたらいいの。
19歳以上では公費による予防接種の補助はありません。しかし19歳以上で流行を認めるため、自費にはなりますが追加接種を受けていただく方がよろしいかと思えます。ただ40歳以上では過去に麻疹患者との接触が多かったためワクチンの効果が持続している場合も多く、追加接種の必要性は低いようです。